

別府市に移住された方へのアンケート調査結果のまとめ

調査目的： 移住者数、移住のきっかけ等の調査

調査対象： 別府市に移住された方(大学進学等の一時的な居住の方を除く。)

調査方法： インターネット上でのWEBアンケート

調査期間： 平成28年3月1日(火)～平成28年3月21日(月)

回答者数： 49名

①回答者の属性

今回のアンケート調査はインターネット上でのWebアンケート調査ということもあり、回答者の属性は30～40代が中心(約7割)となっている。男女比は女性の割合が若干多くなっている。(男性:43%、女性:57%)

移住してからの期間は2年以内の移住者が40%で、10年以内の移住者が約88%となっている。

家族構成は、移住時点より「単身」、「夫婦」の割合が減少(単身: -14%、夫婦: -3%)し、「親子」の割合が増加(+15%)している。

「Iターン」の割合が最も高く57%で、「Jターン」が27%、「Uターン」16%となっている。

移住前の住所は「大分県内(特に大分市)」が最も多く29%、大分県内を含む「九州地方」が約半数(47%)となっている。

②仕事について

仕事については、移住前は「会社員等」の割合が74%と高かったが、移住後は「会社員等」の割合が39%まで低下し、「自営業」(+8%)、「パート等」(+5%)、「年金受給中」(+6%)「無職」(+6%)等の割合がそれぞれ増加して、仕事の状況は分散化している。

仕事を見つけてから移住している方が約半数であり、移住のきっかけの「その他」の回答の中にも、就職に関する記載が多く見られた。(移住先を探していて、別府市に来たのではなく、就職先があったので、別府市に来ている)

③移住前の来別回数や移住のきっかけ等について

移住前に別府市に来た回数は、「3回以内」が最も多かったが(31%)、次いで「21回以上」(27%)となっており、何度も別府市を訪れた結果、移住されている方が多く見られた。

移住地として別府市に興味を持ったきっかけ(複数選択可)及び決め手(ひとつを選択)は、ともに「日本有数の温泉地・観光地」が最も多かった。(きっかけ:32名、決め手:15名)

その他、きっかけとしては、「地縁」(18名)や「観光で訪れた」(16名)、「都市機能と自然環境のバランス」(15名)を選択している方が多かったが、決め手としては、「観光で訪れた」(1名)、「都市機能と自然環境のバランス」(4名)が減少し、「自然環境」(きっかけ:2名、決め手:9名)が増加している。

④移住に関する情報について

移住に関する情報収集(複数選択可)については、「情報収集しなかった」(20名)と回答した方が最も多く、次いで、「現地の人や親戚・知人」(17名)、「別府市ホームページ」(15名)の順であった。

移住を検討するにあたって、必要と感じた情報(3つ以内で選択)は、「土地・住宅」(30名)が最も多く、次いで「仕事」(18名)となっている。

移住する時にあるとよい(あれば良かった)と思う支援(3つ以内で選択)については、「住宅探しに対する支援(空き家の紹介)」(29名)が最も多く、次いで、「就職や起業に対する支援」(23名)、「引越しに係る費用の支援(引越し費用、不動産仲介手数料等)」(23名)となっている。

必要と感じた情報、あるとよいと思う支援、ともに、住まいに関係するものが最も高く、次いで、仕事に関係するものとなっている。

⑤移住後の生活について

移住後の生活については、「満足している」と回答された方が最も多く74%で、理由としては『温泉に関すること』、『生活の利便性(コンパクトさ)』、『医療施設の充実』、『自然環境(海、山)』、『住民との関係性(親切、やさしい)』等があげられている。

「どちらとも言えない」と回答された方は22%で、理由としては、

『仕事に関すること(賃金、職種)』、『子供に関すること(学校、子育て支援)』、『他都市のような移住者支援』等があげられている。

今後も別府市に住み続けたいと思うかについては、「はい(今後も住み続けたい)」と回答された方が最も多く65%で、理由としては

『温泉に関すること』、『暮らしやすさ』等があげられている。

「どちらとも言えない」と回答された方は33%で、理由としては、

『親(実家)の関係』、『仕事の関係』等があげられている。